

定期作況報告

(第2号 平成22年6月20日現在)
地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場

1. 気象概況

5月下旬：最高気温は平年より1.2 低く、最低気温も平年より1.9 低かった。降水量は平年より19.6mm 少なく、平年対比33%であった。降水日数は平年より2日少なかった。日照時間は平年より31.9時間多く、平年対比155%であった。夏日(最高気温25 以上)は1日間であった。

6月上旬：最高気温は平年より0.6 高く、最低気温は平年より0.4 低かった。降水量は平年より8.1mm 少なく、平年対比63%であった。降水日数は平年より1日少なかった。日照時間は平年より13.7時間多く、平年対比126%であった。夏日は4日間であった。

6月中旬：最高気温は平年より4.5 高く、最低気温も平年より3.9 高かった。降水量は平年より2.5mm 多く、平年対比112%であった。降水日数は平年並であった。日照時間は平年より35.0時間多く、平年対比170%であった。夏日は8日間でそのうち2日間が真夏日(最高気温30 以上)であった。

5月下旬から6月中旬までの気象は表1のとおりである。

表1 気象

調査項目	5月下旬			6月上旬			6月中旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温()	19.0	20.2	1.2	22.1	21.5	0.6	27.1	22.6	4.5	22.7	21.4	1.3
最低気温()	6.1	8.0	1.9	9.7	10.1	0.4	15.4	11.5	3.9	10.4	9.9	0.5
平均気温()	12.2	13.9	1.7	15.4	15.6	0.2	20.7	16.8	3.9	16.1	15.4	0.7
降水量(mm)	9.5	29.1	19.6	13.5	21.6	8.1	23.0	20.5	2.5	46.0	71.2	25.2
降水日数(日)	2	4	2	2	3	1	3	3	0	7	10	3
日照時間(hr)	90.2	58.3	31.9	66.8	53.1	13.7	84.9	49.9	35.0	241.9	161.3	80.6

注1) 比布アメダス観測値。

2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。

3) 印は平年に比べて減を示す。

1) 水稻：やや不良

事由：移植は平年と同じ5月19日に行った。移植時からの好天により活着は良好であったが、5月第6半旬の低温と6月第1半旬の低温、寡少により生育は大きく停滞し、さらに同時期の冷たい強い風により葉先枯れが発生した。6月第2半旬から天候は回復し、高温、多照に経過していることから、生育は回復してきている。

6月20日現在、主稈葉数は平年より0.3枚程度少なく、 m^2 当たり茎数は平年の92～97%まで回復した。草丈は平年より0.7～1.4cm高かった。

これらのことから、目下の作況は「やや不良」である。

表2 6月20日現在の本田生育

品種名	苗	主稈葉数 (枚)			茎数 (本/ m^2)				草丈 (cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	対比(%)	本年	平年	比較
ほしのゆめ	成苗	7.8	8.1	0.3	590	614	24	96	36.9	35.5	1.4
きらら397	成苗	8.3	8.7	0.4	595	648	53	92	34.3	33.1	1.2
ななつぼし	成苗	8.0	8.3	0.3	529	543	14	97	38.7	38.0	0.7

注1) 平年値は平成15～21年7カ年のうち平成20年(最豊年)、平成21年(最凶年)を除いた5カ年の平均を用いた。

2) 印は平年に比べて減を示す。

3) 本田耕種概要 施肥量：N、 P_2O_5 、 K_2O 成分をそれぞれ8.0、9.7、6.9(kg/10a)、堆肥を1t/10a
 栽植密度：25株/ m^2 (33.3cm×12.0cm)
 植え本数：3本/株 移植日：5月19日
 除草剤散布日：5月29日

2) 秋まき小麦：やや不良

事由：出穂期は平年並で、草丈、茎数は平年を下回っている。分けつの無効化が急速に進み、穂数は平年を下回ることが予想される。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表3 6月20日の秋まき小麦の生育

品種名	出穂期 (月日)			草丈 (cm)			茎数 (本/ m^2)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホクシン	6.10	6.10	0	84.8	90.6	5.8	606	695	89

注1) 平年値は、前7か年中、平成20年、21年を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

3) 春まき小麦 : 平年並

事由: 播種期、出芽期とも平年より7日遅れであったが、6月第2半旬以降は高温・多照に経過したため、出穂期はほぼ平年並であった。草丈はほぼ平年並であり、茎数は平年を上回っている。したがって、目下の作況は平年並である。

表4 6月20日の春まき小麦の生育

品 種 名	出 穂 期 (月日)			草 丈 (cm)			茎 数 (本/m ²)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
春 よ 恋	6.20	6.19	1	74.2	76.3	2.1	774	667	107

注1) 平年値は、前7か年中、平成15年、18年を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

4) 大 豆 : 良

事由: 播種期は平年より2日早く、出芽期は3日早かった。6月第2半旬以降高温・多照に経過したため、主茎長、主茎節数とも平年を上回っている。

したがって、目下の作況は良である。

表5 6月20日の大豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 (cm)			主 茎 節 数 (節)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ユ キ ホ マ レ	6.01	6.04	3	18.5	14.6	3.9	5.8	4.6	1.2

注1) 平年値は前7か年中、平成18年、21年を除く5か年の平均値。

2) は平年より早を示す。

5) 小 豆 : やや良

事由: 播種期は5月24日で平年より1日早かった。播種後は低温に経過したため、出芽期は平年より1~2日遅れたが、出芽は良好であった。出芽後の気温が高かったため、両品種とも主茎長は平年を上回り、本葉数は平年をやや上回っている。

したがって、目下の作況はやや良である。

表6 6月20日の小豆の生育

品 種 名	出 芽 期 (月日)			主 茎 長 (cm)			主 茎 節 数 (節)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリモショウズ	6.10	6.08	2	6.6	4.2	2.4	1.5	1.0	0.5
しゅまり	6.09	6.08	1	7.7	5.3	2.4	1.5	1.1	0.4

注) 平年値は、前7か年中、平成15年、16年を除く5か年の平均値。

6) ばれいしょ : やや不良

事由：種いもの育芽処理が低温、寡照により十分行えず、萌芽期前後に著しく低温に経過したことなどにより、萌芽期は平年より5日遅く、初期生育も遅かった。6月第2半旬以降の高温・多照により、生育は回復しつつあるが、茎長は平年を9.2cm下回っている。なお、既に着蕾はみられるが開花には至っていない。

したがって、目下の作況はやや不良である。

表7 6月20日のばれいしょの生育

品 種 名	萌 芽 期 (月日)			開 花 始 (月日)			茎 長 (cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男 爵 い も	6.01	5.27	5		6.24	—	25.5	34.7	9.2

注1) 平年値は、前7か年中、平成16年、19年を除く5か年の平均値。

2) は平年より減を示す。

5月20日の時点で播種していなかった小豆の耕種概要は以下の通りです。

表8 小豆の耕種概要

作物名	前作物	畦巾 cm	株間 cm	1株 本数 (本)	播種 粒数 本/m ²	株数 (株/ 10a)	施 肥 量 (kg / 10a)				
							N	P2O5	K2O	MgO	堆肥
小 豆	ほうれんそう	60	20	2	8,333	3.0	3.0	12.0	7.0	3.0	-